

学力調査

	成果が見られる設問	課題が見られる設問	課題への主な改善策
国語A 主として知識に関わる問題	<ul style="list-style-type: none"> 書こうとする事柄のまとめりや順序を考えて文章を構成する 文脈に即して漢字を正しく読む 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う 慣用句の意味を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える 目的に応じて文の成分や順序や照応、構成を考えて適切な文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 図表が文章のどの部分と関連しているか確認し、図表の役割について考えたり、文章の内容を捉えるためにどのような図表が必要かを考えたりする学習の充実 文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えながら、文書を作成する学習の充実
国語B 主として活用に関わる問題	<ul style="list-style-type: none"> 質問の意図を捉える 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く(複数の条件を踏まえた思考・表現) 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方について複数の条件を踏まえて自分の考えをもち、伝え合う学習の充実 図表が文章のどの部分と関連しているかを確認しながら、書き手の伝えたい内容を的確に読み取る学習の充実
数学A 主として知識に関わる問題	<ul style="list-style-type: none"> 数直線上に示された負の整数を読み取ることができる 単項式どうしの除法の計算ができる 簡単な比例式を解くことができる 長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 数量の大小関係を不等式に表すことができる 折り目の線の作図と角の二等分線の関係を理解している 一次関数の意味を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 数量の関係を式に表したり、式の意味を読み取り伝える学習の充実 角の二等分線や線分の垂直二等分線、垂線など基本的な作図の学習の充実 具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、表、グラフ、式との関連に着目しながら1次関数について理解を深める学習の充実
数学B 主として活用に関わる問題	<ul style="list-style-type: none"> 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる 付加された条件の下で、新たな事柄を見出し、説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 樹形図や表を用いて、効率よく確率を求める学習の充実 不確定な事象について、確率を用いて説明する学習の充実 三角形や平行四辺形の性質を、三角形の合同条件などを利用して証明し、その証明を活用して新たな図形の性質を見出す学習の充実
理科	<ul style="list-style-type: none"> 無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる 豆電球と豆電球型LEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる 	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる 	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化の意味と化学式について考え、化学変化について原子や分子のモデルで説明する学習の充実 自分たちが考えた実験方法や実験結果のエラー値などについて、その妥当性や原因について振り返る学習の充実

整理して書く、説明する等の言語活動に課題

質問紙調査

※ △：全国より高い ▲：全国より低い

○肯定的な回答の割合が90%を超える設問

- 学校の規則を守っている (97.2%△)
- 毎日同じ時刻に起きる (96.4%△)
- いじめはどんな理由があってもいけないことだ (96.3%△)
- 人の役に立つ人間になりたい (92.7%▲)
- 朝食を毎日食べる (92.6%△)
- 家で、学校の宿題をしている (91.7%△)

学習、生活において基本的な習慣の定着が見られる

●肯定的な回答の割合が60%を下回る設問

- 家で、学校の授業の予習・復習をしている (59.7%△)
- 将来の夢や目標をもっている (58.7%▲)
- 家で、自分で計画を立てて勉強している (52.2%△)
- 地域の行事に参加している (48.6%△)

自己の将来とのつながりを実感できる教育活動の充実が必要

■メディア利用に関する設問

- 放課後や週末、家で、何をすすすか(複数回答)
DVD、ゲーム、ネット (放80.7%△ 週81.7%△)
友達と遊んでいる (放48.6%△ 週60.6%△)
勉強や読書 (放53.2%▲ 週68.8%△)
家族とすごしている (放45.9%△ 週57.8%▲)
- 1日に1時間以上読書をする (18.4%△)
- 1日に1時間以上勉強する (74.4%△)
- 新聞をほとんど読まない (67.0%▲)
- テレビやネットのニュースを見る (89.0%△)

計画的な学習、ゲーム、ネット等をして過ごす時間の自己管理能力の育成が必要

■「主体的・対話的な学び」に関する設問

- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる (70.6%▲)
- 発表する時、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話しの組み立てなどを工夫して発表している (45.9%▲)
- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる (74.3%▲)

工夫して発表する等の言語活動の充実が必要

全教育活動の改善へ

学力向上に向けたロードマップ

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8		
カリキュラム・マネジメント	■教育課程の編成		■実施/評価/改善						■年度末評価		■教育課程の編成 ■実施/評価/改善									
学力・学習状況調査等の活用	■調査/自校分析				■分析結果/改善策の共有				■調査/自校分析											
授業改善	■主体的・対話的で深い学びの実践																			
	■各種研修会への参加																			
	■教科指導等研修																			
	■授業力向上プロジェクト/教育課程改善協議会(市教委)																			
学習サポート	■放課後学習「ブリッジ」(全学年20回)																			
	■定期テスト前学習「プラス」(全学年9回)																			
	■夏季休業「全教科学習イベント」 ■冬季休業「全教科学習イベント」																			
学習習慣・生活習慣づくり	■学習の進め方集会				■スクールライフ(振り返り)				■スクールライフ				■スクールライフ				■学習の進め方集会			
	■「明星夢ダイアリー」によるセルフマネジメント																			
	■教育相談				■教科相談				■教育相談				■教科相談				■教育相談			

学力向上に向けた今後の取組

- 「分かる」「できる」を実感させる授業づくり**
 - 論理と言語に軸を置くカリキュラム・マネジメントの促進
 - 「主体的・対話的で深い学び」を視点とする授業改善
 - 「見通し・振り返り」による主体的な学びの充実(「学習課題」の明確化)
 - 考え広げ深める対話的な学びの充実(「個人思考・集団解決」の工夫)
 - 「見方・考え方」を働かせた深い学びの実現(「指導計画」の改善)
 - 数学科、英語科における少人数指導、チーム・ティーチングの一層の充実
- 基本的な学習習慣・生活習慣の確立**
 - 放課後学習サポート(ブリッジ、プラス等)の充実
 - 「明星夢ダイアリー」による自己の生活の見直しや計画的な家庭学習の促進
 - 小中連携による義務教育9年間を見通した学習習慣・生活習慣づくりの推進
 - ライズライブラリ「家庭学習サービス」の活用
- 学ぶことと自己の将来とのつながりを実感できるキャリア教育の推進**
 - 発達段階に応じた上級学校や職場での体験学習等の充実
 - 社会や世界との関わりから学びを深める体験活動や奉仕活動の推進
 - 自己の生き方を考える学習活動の充実